

第1章

東広島市の環境活動事例紹介



《組織の概要》

わたしたち「エコネットひがしひろしま」は、市民・事業者・団体と市が連携・協力して、環境問題の改善に向けた実践・啓発活動に取り組み、持続可能な社会の実現をめざしたまちづくりを推進することを目的として、平成22年7月16日に設立しました。



◆平成30年の特筆すべき活動

「脱温暖化キャラバン in 東西条」と題して、東西条地区住民自治協議会と協力して地球温暖化の現状を学び考動につなげるためのイベントを実施しました。

エコネットひがしひろしまの会員による展示や省エネ診断などのほか、木の匙をつくる体験イベントやテレビ新広島の気象予報士波田健一さんによる『仁義なき地球温暖化～異常気象を斬る～』と題した講演会を行い、約80名の参加がありました。エコネットひがしひろしまの活動を東広島市全体に広め、ほかの住民自治協議会でもイベントを実施していきたいと考えています。



講演会の様子



木の匙クラフト



クラフトづくりコーナー



昆虫標本の展示



龍王山の水の試飲



省エネ診断



エコストーブの実演



薪ストーブの展示



交流会の様子

《これまでの歩み》

平成22年7月16日に設立後、平成23年に策定された東広島市環境基本計画において、市民・事業者の取り組みの推進や評価を行う組織として位置付けられています。

これまで、エコクッキングの開催や、ひがしひろしま環境フェアなど各種イベントへの出展など、地球温暖化対策にとどまらず幅広い活動を行っています。

《今後の展望・キーワード》

現在、個人会員49、事業者会員24、団体会員17の計90の会員で構成されていますが、市内にはまだまだ環境において活躍されている個人、団体、事業者の方がいらっしゃるのので、会員数を増やしてより幅広い環境のネットワーク組織づくりをしていきたいと思っています。

ぜひ、環境活動をされている個人、団体、事業者の方は、エコネットひがしひろしまに会員登録してください。

◆連絡先やホームページURLなど

〒739-8601

広島県東広島市西条栄町8番29号
東広島市役所生活環境部環境対策課内

TEL 082-420-0928 (環境対策課)

URL <https://go-eco.me/>

エコネットひがしひろしま



<http://go-eco.me/>

《組織の概要》

近畿大学工学部化学生命工学科の学生が所属する学生団体です。

私たちは、学科の行事や大学の行事を始め、環境に配慮した地域のボランティアなど多岐にわたり活動しています。



◆平成30年の特筆すべき活動

- 6月 環境の日ひろしま大会にて、UE-net（大学環境ネットワーク協議会）の参加大学と共に宮島の環境についての調査を発表しました。
- 10月 こども未来フェスタ in 福富にて、親子向けの実験、工作コーナーを担当。特に工作は、福富の豊かな自然を活かしたもので多くの親子にそのすばらしさを実感してもらいました。
- 12月 サンタプロジェクトにて、半尾川流域の清掃、西条駅周辺の清掃を行いました。





《これまでの歩み》

2013年
当時委員長の横野一步さんが、学祭での廃油回収を開始。
エコネットひがしひろしまに参加。
環境に関するボランティア開始。

その後

2014年度	委員長	村田充さん
2015年度	委員長	井関奎太さん
2016年度	委員長	渡辺洋さん
2017年度	委員長	山崎海人さん
2018年度	委員長	久保江雄大さん

と委員長が変わる毎に、例年通り参加させていただいております。

《今後の展望・キーワード》

今後は、他大学や地域の方々ともっと交流を深めながら、より多くの意見に触れ、自分たちが大学生として地域に何を還元できるのかを常に念頭において活動していきたいです。

また、工学会内でも男女学年を問わず、誰もが仲良く、臆することなく自分の意見を言い合えるそんなグループにしていきたいと思っています。

◆連絡先など

〒739-2116
広島県東広島市高屋うめの辺1番
TEL (082) 434-7000

《組織の概要》

広島県全域を活動エリアとする生活協同組合ひろしまは、組合員が40万世帯(3世帯に1世帯加入)、資本金に相当する出資金が131億円になりました。

生活協同組合は、“平和と組合員のよりよき生活のために”事業活動と組合員活動を車の両輪として事業・活動を行っています。

主な事業活動は、宅配事業、店舗事業、福祉事業、夕食宅配事業、共済事業、文化・サービス斡旋事業などで、売上高と事業収入の総計は444億円です。また、事業活動に携わる職員は2,000名を超えます。

組合員活動としては、お互いさまを基本とした福祉・助け合い、ユニセフ、災害支援、平和、食の安全・食育、環境・省エネ、産直、災害支援など、暮らしに関わる幅広い活動を行っています。また、今年度からSDGsの学習活動も積極的に進めています。



生協の配送車両



災害地支援のお好み焼き隊 (TO 岩手、福島、熊本、福岡)

◆平成30年の省エネ・環境活動

1. 事業活動で排出されるCO₂を毎年1%削減する。
 - ⇒ デマンドコントロールを行うことによるピークカットを行う他に、照明器具、冷凍冷蔵庫、エアコン、配送車両を計画的に省エネ性能の高い機器に取り換えることにより、CO₂排出量の削減を行っています。
2. 組合員参加によるリサイクル推進。
 - ⇒ 対象は、飲用パック、たまごパック、発泡トレイ、透明トレイ、シッパー内袋、チラシ等紙類、ペットボトルの他に事業系の紙類、梱包資材のリサイクルを推進。
 - ⇒ マイパック持参率は88.3%を維持しています。



電気使用量の見える化を実施

3. 組合員参加の省エネトライアルを実施。
 - ⇒ 2004年から毎年省エネトライアルを行い、家庭の省エネを進めています。対象期間が7カ月と長いので、我慢を強いる取り組みでは省エネが進まないことも明確になりました。
4. 年2回の省エネ相談・環境学習会の実施。
 - ⇒ 年に2回、省エネ相談ソフトの操作をマスターする研修と温暖化の進行やその対策、政府や各国の動向などを学び、家庭での省エネを進めるための学習会を行っています。
5. 田んぼの水生物調査や自然教室の実施。
 - ⇒ 田んぼの水生物調査やFSC認証を取っているアサヒの森で自然教室を行っています。
6. 商品供給によるSDGsの取り組み。
 - ⇒ 沖縄のサンゴ礁を守る「もずく基金」や「うなぎ資源対策協力金」など、商品供給と合わせて、SDGsの学習も進めています。



《これまでの歩み》

- 1979年：「琵琶湖条例」を期に洗剤運動が盛り上がる
- 1990年：牛乳パックの回収運動を開始
- 1995年：買い物袋持参者にスタンプを押す取組を開始
- 1997年：COPⅢ（京都議定書採択）により、温暖化対策に重点が移る
- 2002年：ISO14001を認証取得、リサイクルシステム構築
- 2004年：事業活動によるCO₂排出量の削減計画を策定

《今後の取り組み》

2030年までのCO₂削減計画の策定を進めています。基本的には、省エネ（減らす）、再エネ電源の開発（つくる）、再エネの電源を自家消費する（つかう）の3本柱で検討を進めています。

生活協同組合ひろしま

〒739-0495

広島県廿日市市大野浦1-2-10

TEL 0829-50-0409

URL <http://www.hiroshima.coop>

FAX 0829-50-0352

E-mail hcoop@mail.hiroshima.coop

《組織の概要》

森のぬくもりを伝えたい。

薪火の暖かさ・木材の肌触りや、香り
自然とふれあうことの心地よさを薪ス
トーブを介して伝えていく。

薪を作ることで里山整備につながり
暖房として使うことにより二酸化炭素
の削減に貢献しています。
(カーボンニュートラル)



◆平成30年の特筆すべき活動

脱温暖化キャラバンなどのイベントに出展し、薪ストーブでのクッキングの実演や暖かさを体感して頂きました。また炎の揺らぎによる癒しも好評でした。

子供達には簡単な薪割りや、マシュマロ焼きで炎にふれあい、炎との正しい付き合い方を伝える事ができました。男の子は炎が好き
な子が多く、女の子はのこぎりの扱いが上手く、比較的簡単に丸太
を切っていたのが印象的でした。

手間はかかりますが、薪ストーブのある豊かな生活の提案、山への興味を引き出すことが出来たと考えています。





《これまでの歩み》

1990年 薪ストーブの販売・施工を始め、施工実績1,000件以上の経験で安心・快適に末永くお使い頂けるようアフターフォローを大切にしております。

平成29年7月の豪雨災害で本社（広島市安芸区中野）が浸水被害に遭い、自然環境を大切にすることが大事だと再認識しました。

《今後の展望・キーワード》

伐採、薪割りなどのイベントを積極的に開催し、里山整備と薪づくりをつなげていく事。

薪ストーブ普及に伴い化石燃料の使用量を減らし、地球温暖化の抑制に貢献していきます。

薪ストーブを身近に感じて貰えるように、浸水被害に遭った倉庫をショールームとしてオープンしました。

◆連絡先など

広島県東広島市志和町志和東 1710-1
TEL 082-433-6228
本社：広島市安芸区中野2丁目 3-15
TEL 082-893-3900
FAX 082-893-1285
ノーム 広島 で検索を



《組織の概要》

研究科内の 21 世紀科学プロジェクト群、資源エネルギープロジェクトが中心となって活動を実施。様々な資源（地下資源、水資源、生物・遺伝子資源など）の持続可能性やエネルギーの安全保障などに関わる課題について、広い視野で研究を進めることを目指しています。

代表：小野寺真一

教員：23 名

大学院生：13 名



現地検討会-北九州

◆平成30年の特筆すべき活動

【シンポジウムの開催】

- ①2月28日「バイオマス産業都市構想へのアクション」、東広島市市民文化センターアザレアホール
- ②6月24日「流域における水環境保全と持続可能な利用のための連携～里水～」、岡山国際交流センター国際会議場
- ③7月24日「バイオマス産業都市構想と持続可能な開発目標」、広島大学 学士会館レセプションホール

【現地検討会の開催】

- ①7月16日：尾道市干潟観察
- ②9月26日-27日：岡山県西粟倉村、真庭市バイオマス産業都市構想の視察・検討会
- ③10月17日：広島県島嶼部 水資源と農業と地域 検討会



「流域における水環境保全と持続可能な利用のための連携～里水～」

主催：広島大学大学院総合科学研究科、陸域環境研究会
後援：山陽新聞、里海づくり研究会議、高梁川流域連盟

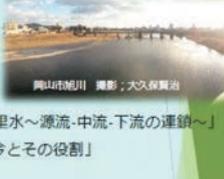
日時：平成30年6月24日（日）13時15分～17時05分
受付：12時30分～ ポスター掲示：12：30～17：15

会場：岡山国際交流センター 国際会議場（2F） 入場無料
岡山市北区幸運町2丁目2番1号 岡山駅西口 徒歩3分

開催要領：
水の乏しかった瀬戸内では、古くから積極的に水を利用しそのために保全してきており、「里山」「里海」にならって、ここで「里水」と定義する。これは、国連が提唱する『持続可能な開発目標（SDGs）』の中の『健全な水利用』においても有益であろう。一方で、上流域と下流域の連携不足、現状認識や将来像の齟齬を生み大きな課題となっている。ここでは、瀬戸内海流域の水環境の特徴を伏し理解した上で、里水論の可能性、上流・下流連携のための方策について理解を深め議論したい。

<プログラム> 司会 浅野敏久（広島大学）
13:15～13:20 開会あいさつ 大久保賢治（岡山大学）
13:20～13:30 開催趣旨 小野寺真一（広島大学）

1部 講演 13:30～14:30
小野寺真一（広島大学）「流域における水環境と里水～源流・中流・下流の連携～」
三戸雅文（国土交通省）「河川をとりまく国の行政の今とその役割」
岡山一郎（山陽新聞）「流域連携の現状と課題」




《これまでの歩み》

*下記 web ページ参照

2006年4月に研究科が設立されて以来、21世紀科学プロジェクト群も組織され、資源エネルギープロジェクトもスタートしました。

初期代表は福岡正人教授、その後、於保幸正教授、佐藤高晴准教授に引き継がれ、現在に至ります。

主に、シンポジウムの開催（年2回程度）、地域交流会の開催（年10回程度）、研究会の開催（年5回程度）、現地検討会の開催（年2回程度）を行い、資源・エネルギーに加えて環境や地域に関する課題について議論をしています。

《今後の展望・キーワード》

2020年に本研究科は自然科学技術研究科に統合されるため、本プロジェクトも終了となります。ただし、個々の研究プロジェクトをベースに地域（社会）貢献とともに交流を推進していくことは、大学の重要な役割です。その意味では、類似の活動が継続されていくように、うまく橋渡しをしていきたいと考えています。

【キーワード】

エネルギー・水の安全保障 多様な資源の持続可能な利用地域貢献・地域交流

シンポジウム、現地検討会

◆連絡先など

〒739-8521

広島県東広島市鏡山1-7-1

TEL 082-424-6496

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/mtcatwg/big-hands/souka21seiki>

《組織の概要》

広島大学総合博物館は、キャンパスをまるごと展示するエコ・ミュージアムです。キャンパスには、化石や化石製を常設展示する博物館本館のほか、キャンパスから出土した土器や石器などの埋蔵文化財や学部の特色ある研究を紹介する「サテライト館」、さらにキャンパスを探索し、様々な動植物と出会える自然散策道「発見の小径」があります。



◆平成30年の特筆すべき活動

2種類のフィールドナビ（野外観察会）を開催しました。

1つめは、全4回連続講座の里山の植物観察会です。東広島キャンパスで見られる植物の楽しみかた、見分けるときのポイントなどを、季節ごとに散策をしながら学んでいただきました。

2つめは、春・秋2度のネイチャーゲームです。ビンゴゲームをはじめ、簡単なゲームをしながら、参加者に五感を使ってキャンパス内の自然に触れ、その体験を分かち合っていました。

どちらの観察会も、広島大学の自然豊かなキャンパスという強みを活かして、身近な自然環境について学び、感じることを目的としています。また、2018年は172団体（授業含む）に博物館をご利用いただきました。





《これまでの歩み》

開館（2006年）以来、キャンパスの豊かな自然を利用したフィールドナビ（野外観察会）を71回（2018年12月時点）開催してきました。様々な自然を使ったネイチャーゲームや植物や生き物の観察会を行い、園児から大人までたくさんの方々に参加していただいています。また、博物館本館では、幼稚園、小・中・高・大学生、一般、外国人、障がい者など年間約200件の団体利用があります。スタッフは積極的に展示解説を行っており、好評をいただいております。

《今後の展望・キーワード》

「ここにはあなたの知らない世界があります。知のオアシス博物館へ」

総合博物館本館では、惑星の成り立ちや国内外の多様な化石、キャンパスや東広島市周辺の里山・里海の生き物などについて、実物標本を中心とした展示物をご覧ください。キャンパス内の「発見の小径」には、全国的にも希少な多種多様な動植物が生息しています。ここに来ればあなたも「何かを発見！」する喜びを体験できるかもしれません！

◆連絡先など

〒739-8524

広島県東広島市鏡山1-1-1

TEL 082-424-4212

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/museum/>

《組織の概要》

「水はいのち」をテーマに平成30年度も、環境を考えたイベント「アクアフェスタ in 福富」を開催しました。

第19回の今年は、被災見舞いを前面に出して『がんばろう東広島・みんなの力で元気を出そう』と、企画の段階から張り切って準備しました。

ところが、台風の中を強行しましたが、結果はさんざんで、初日はずぶぬれ、2日目は中止という憂き目に会いました。



◆平成30年の特筆すべき活動

3月に第1回の実行委員会を開き19名の構成で運営会議をスタートさせました。出演団体、出展団体、出店団体等の代表による30年度総会を経て、6つの部会で検討を重ね、9月29日(土)道の駅 湖畔の里福富で開催しました。来場者数は4,500人で過去最低でした。



行列のできる「ウォーターバー」は、福富中学校の生徒が、企画や買付から看板設置など、すべてを全校でやりきりました。(世界の水の飲みくらべ)



作品展の入り口を飾った編み物グループ



写真コンテストの作品の一部

アクアフエスタの一番人気となっているアイガモレース！！

協力：広島大学ふくふくグループ

雨の中、実行班も見物班も大変でした。



《これまでの歩み》

道の駅ができるまでは、福富中学校のグラウンドや教室、体育館を使ってのイベントでしたが、早いもので来年は20周年を迎えることとなります。

過去2回の「来場者数2万人越え」を誇りとし、代々受け継がれていくイベントになるよう頑張っていこうと考えています。

《今後の展望・キーワード》

20周年の来年は、記念すべき内容になるよう、早目の取組と若手の活躍を期待しています。

◆連絡先など

〒739-2303

広島県東広島市福富町久芳3807-1

アクアフエスタ実行委員会 会長 森澤 薫

TEL 080-6333-9068 (専用電話)

090-4654-3316 (個人携帯)

ホームページは
『アクアフエスタ
福富』で検索

《組織の概要》

「エコINNくろせ」は、平成18年3月22日に東広島市で最初の地球温暖化対策地域協議会として設立。

環境にやさしい行動や思いが黒瀬町に宿り（INN）、次世代に良い環境を引き継ぐための活動を継続しています。

具体的には

- ①青少年育成を目的とした環境学習
- ②エコ農業、まち作り活動
- ③地球温暖化防止呼びかけキャンペーン等に、取り組んでいます。



◆平成29～30年の特筆すべき活動

エコINNくろせは、平成23年からドラム缶式クン炭機を使った「もみ殻クン炭作り」を開始しています。現在、8台のクン炭機を保有し、貸し出しも行っていましたが遠方からの問い合わせに対応しきれませんでした。

①平成29年秋に、久井町と世羅町にクン炭機2台づつを設置し、使い方をマスターして頂きました。

今年、平成30年には本格的な貸し出しサービスを開始しました。

②エコINNくろせ保有の8台の内6台は、シーズン前の8月に修復を完了し、シーズン貸出への対応を行いました。

- ・もみ殻クン炭は小さな隙間の多い物質で、保水性や通気性が良いため土壌改良に役立ちます。
- ・二酸化炭素を地中に固定化して地球温暖化の防止にもつながります。

もみ殻クン炭作りの実演講習会



ドラム缶式クン炭機の修理風景





黒瀬町にある5つの小学校を1回/年巡回する
「エコクッキング」
2018年は、上黒瀬小学校を訪問

《これまでの歩み》

- ① 小学生と農業体験による環境学習を継続実施。
 - ・ 田植え・稲刈り・用水路見学
 - ・ エコクッキング・蛍籠作り
- ② 炭作りPJ運動
 - ・ 竹炭作り・もみ殻クン炭作り
- ③ 地球温暖化啓発運動
 - ・ エコ講演会（2回/年）
 - ・ 自転車キャラバン隊行動デー
 - ・ イベント出展

《今後の展望・キーワード》

少しずつ改善を加えながら「継続」をモットーに活動を続けています。

◆連絡先など

〒739-2622

広島県東広島市黒瀬町乃美尾573 小原義昭方 エコINNくろせ事務局

TEL 090-2800-0687（事務局：こはら携帯）

メールアドレス：ekoinnkurose@gmail.com

《組織の概要》

「環境問題」をテーマに活動を行っています。二年生が二人、一年生が二人の計四人でサークルを運営。規模はそれほど大きくありませんが、モットーである「あしもとから始めるエコ」を念頭に、自分たちにできることを少しずつ積み重ねています。最近では地域の方と活動をする事が多くなっています。



◆平成30年の特筆すべき活動

昨年は市職員と市民と学生の「三社協働」で活動を行いました。今年は広島大学の学生団体「東広島ひとむすび」と提携し、「東広島マーケットひとむすびの場」を借りて「サンタプロジェクト」を行いました。「えこページ」は例年どおり、広島大学や近畿大学工学部の学生、市職員とともに半尾川の清掃を行いました。そして、今年度は新たに「ひとむすびの場」を訪れた子どもたちと一緒に周辺の歩道のゴミ拾いを実施。「ひとむすび」は子どもと一緒に鬼ごっこを行うイベントを催し、私たちはそのイベントに鬼役として参加させていただきました。





《これまでの歩み》

一度サークルはなくなったものの約20年近く続く歴史の深いサークル。初めはサークル内だけの活動が主立っていましたが、今となっては地域や他大学を巻き込んで活動ができるほどサークルの活動範囲は広がっています。ただ、広げるだけでなく学内の清掃やゴミ分別の啓発活動、掲示板の整理など、「あしもと」もしっかり見つめながら活動をつづけていくことも忘れてはなりません。

《今後の展望・キーワード》

一緒に活動してくださる「市職員の方」「市民の方」「他大学の学生」と横の関係性は安定しています。このサークルの課題は「縦の関係性」まだまだやれることはあるな、、、と強く感じており、今までのやりかたを続けていくことも大切ですが、もっと既存の価値観を壊して活動をしていく必要があるのかもしれない。

◆連絡先など

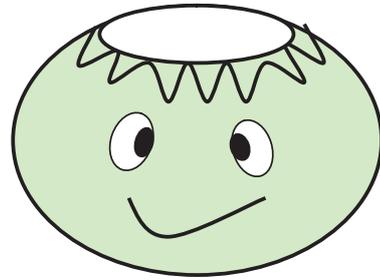
連絡先 twitter : hirodai.ecopage@gmail.com

電話番号 080-8361-3241

《組織の概要》

広島大学・大学院で自然環境に関心を持っている学生で結成している団体です。地域みなさんに、黒瀬川をはじめとした身近な自然に親しんでもらうきっかけを作ることを目的として活動しています。

川は色々な生きものの住み家であることから、川の生き物を代表して、“かっぱ”の“おうち”と名付けられました。



ばくいん

◆平成30年の特筆すべき活動

「秋の昆虫をさがそう！&黒瀬川クリーン作戦※」
学生スタッフとして参加し、参加者の小学生や保護者の方と一緒に黒瀬川の土手で秋の虫取りと観察会、清掃活動をしました。

※主催：三ツ城自治協議会（青少年育成委員会）・三ツ城小学校 PTA ボランティア ネイチャーズ

講師：中坪孝之先生（広島大学大学院生物圏科学研究科／ひがしひろしまモバイルミュージアム代表）





《これまでの歩み》

2004年6月ごろ発足、活動開始。

黒瀬川が子供が安心して遊べるくらいキレイになればとの思いから、黒瀬川のことを地域の方にもっと知ってもらい、好きになってもらいたいと願って活動してきました。

- ・黒瀬川を歩こう(自然観察ハイク)の開催

- ・黒瀬川流域ガイドブックの作成
 - ・環境イベントへの出展
- など

地域の方と一緒に様々なことに取り組んでまいりました。

《今後の展望・キーワード》

しばらくは活動できるメンバーがおらず、やむなく活動休止状態だったのですが、今夏には所属学生も増え、活動できる基盤が整いました。

今後の活動については模索中である部分もありますが、「生きものの住み家を守る」活動を何らかの形で継続してまいれたらと思っております。

◆連絡先など

〒739-8521

広島県東広島市鏡山1-7-1 (広島大学総合科学部) 中坪研究室

TEL: 082-424-6514 FAX: 082-424-0758

《組織の概要》

シェアリングネイチャー（ネイチャーゲーム）は五感を使って自然を楽しもうとする環境教育プログラムの一つです。全国的に活動は広がっており、全国組織として日本シェアリングネイチャー協会、県組織として広島県シェアリングネイチャー協会があります。呉・東広島の会は、県協会を構成する団体の一つとなっています。



◆平成30年の特筆すべき活動

活動は、東広島市と呉市をフィールドとして行っています。東広島分で行った活動は主に3つです。

1. 春の会（5月19日）：広島大学総合博物館との共催（広島大学総合博物館フィールドナビ）で実施。参加者50名。
2. 山の日（6月3日）：龍王山でネイチャーゲーム指導。参加者18名。
3. 秋の会（10月27日）：広島大学総合博物館との共催（広島大学総合博物館フィールドナビ）で実施。参加者43名。





《これまでの歩み》

博物館との共催をはじめ、10年以上、ほぼ同じような活動を続けています。活動の実施がキャンパスと龍王山の定点観察のようになっています。

共催前は山の日もなかったもので、東広島での活動は年2回。活動歴は20年以上になります。

《今後の展望・キーワード》

身近な自然に対する気づき。
開発が進む東広島の自然を大切にすること。

自然に触れることを通じた親子や友人同士の交流。

リーダーを担えるメンバーを増やしたいです。

◆連絡先など

〒739-8521

広島県東広島市鏡山 1-7-1 広島大学総合科学研究科 浅野敏久

TEL 082-424-6364 (大学・研究室直通)

《組織の概要》

「西条・山と水の環境機構」は、東広島やその周辺の文化や産業を育んできた水をいつまでも享受し、美しい故郷を次の世代へ手渡していくことを使命として、森林や小川、池、田畑など、山と水を取り巻く環境の保全・育成に寄与していくことを目的としています。そのために、東広島市の企業や大学生、高校生、市民団体の方に参加を頂き、下草刈や除伐など、山の手入れ作業をはじめ、水質・水量調査などの調査研究活動、水質や森林保全の活動を支援・助成するなどの活動を行っています。



◆平成30年の特筆すべき活動

6月3日(日) 第17回ひろしま「山の日」県民の集い in ひがしひろしま及び第85回山のグラウンドワークを実施。

7月28日(土) 水のグラウンドワーク及び10月13日(土)・12月15日(土) 山のグラウンドワークは集中豪雨により龍王山に入山出来ない為に中止。



6月3日の山のグラウンドワークでの除伐作業



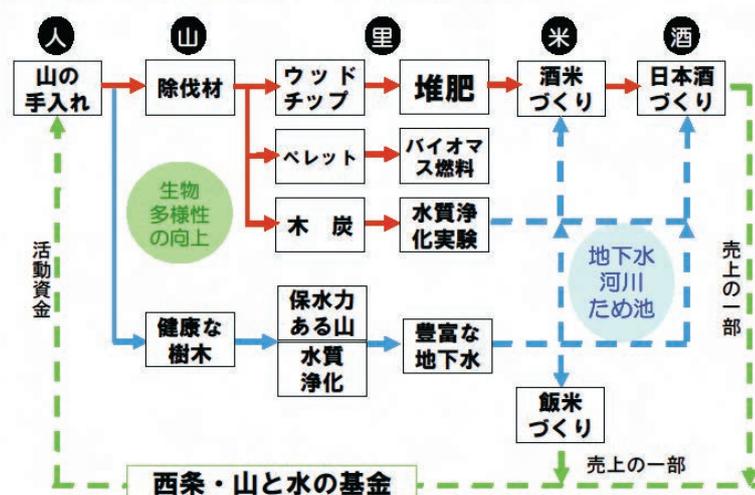
11月1日 東広島市立西条小学校4年生の総合学習

11月1日(木) 西条小学校4年生総合的な学習で、龍王山についてのお話を聞く会及び間伐クラフト体験。

11月17日(土)・18日(日) 東広島市生涯学習フェスティバルで講座及び展示(於、くらら)。

12月15日(日) 東広島学(2018)で講義及び利き水などのワークショップ(於、近畿大学工学部)、なお、山のグラウンドワークは中止。

■山のグラウンドワーク事業概念図



「西条・山と水の環境機構」は、西条の酒造業者の清酒の売上の一部、及び、賀茂台地で作られたこしひかり「賀茂八十八」の売上の一部を拠出した基金によって運営されています。

山の手入れは豊富な地下水を維持し、除伐材はチップやペレット、木炭にし、堆肥や木質燃料、水質浄化などの環境保全活動に循環しています。

《これまでの歩み》

- 2000年11月 「山づくり、水づくり、酒づくり」シンポジウム&森林ボランティア研究会を開催（第1回山のグラウンドワーク）
- 2001年5月 「西条・山と水の環境機構」発足
- 2005年1月 除伐材のチップ化による堆肥づくり実験開始
- 2006年5月 山と水の基金報奨事業 第1回表彰式
- 2009年1月 東広島市森づくり事業補助金にて小型チップパーシュレッダーを導入
- 2012年3月 木質ペレット製造機（ペレタイザー）他機材購入：セブン-イレブンみどりの基金2012年度公募助成
- 2014年11月 西条の文化的な資産や景観を保全するための勉強会を開催
- 2015年12月 西条小学校 4年生総合学習 龍王山フィールドワーク（グラウンドワーク&登山）
- 2018年2月 JA全農ひろしま・賀茂台地のお米「賀茂八十八発売記念式」で活動状況を報告

《今後の展望・キーワード》

龍王山に降った雨は、約50年をかけゆっくりと地下を流れ、南の酒造地帯へ酒を醸すのに良質の水を贈り届けます、そのさらに南側は、鉄分の多い水となり酒造には適さない地下水となります。

酒蔵が集中する酒蔵通りは、酒造りに適したまさに「奇跡の水」が湧き出る地域でもあります。

龍王山の手入れをすることで、「奇跡の水」を守っていきます。

◆連絡先など

〒739-0012 東広島市西条朝日町 6-51
 TEL (082) 421-8032 FAX (082) 422-2668
 E-mail : yamamizu@kamon.ne.jp



《組織の概要》

私たちすいすい倶楽部は、沼田川流域の水と共に暮らす人々と、楽しく希望に満ちた未来をつくるために2000年7月に住民有志が立ち上げました。当初は行政の協力もありましたが平成の大合併を機に完全に独立し、自由な発想で沼田川流域の環境保全に関する活動や、東広島市のまちおこしに協力しております。



◆平成30年の特筆すべき活動

7月の豪雨災害で多くのイベントが中止を余儀なくされましたが、「アクアフェスタ in 福富」「生涯学習フェスティバル」「子ども未来フェスタ in 福富」は執り行われ参加しました。

被災された方々にはお見舞いを申し上げます。





《これまでの歩み》

私たちは、沼田川をベースに活動しています。近年の天候不順でなかなか予定していた行事ができないのが悩みの種です。

すいすい倶楽部は2000年から活動してきましたが、当初は10年会員にJWニコルさんを迎え10年間は何が何でも続けようと思っていましたがいつの間にか足かけ19年、よく続いていると思います。無理をせず、全員一致で活動を決める。長く続くコツだと思いますこれからも宜しくお願い致します。

《今後の展望・キーワード》

活動資金

イベントでの物販の収益をと年会費¥1,000-を充てていますが苦しいのが現状です。何とかよい方法を考えて現状維持で活動したいと思います。

夢は福富町に「大きな沼田川の水族館」を作ることです。

今年から少しずつ準備にかかります。乞うご期待。

◆連絡先など

〒739-2303
 広島県東広島市福富町久芳5165
 (松永治寿)

《組織の概要》

東広島市西条地区の市街地を流れる「半尾川」の環境や近隣のにぎわい創出への関心を高め、次世代型の環境都市づくりに関する健全な提言を行うことを目的にした組織（2016年9月設立）。

定期的な清掃活動や植栽、生物調査などを通して市民の関心や参加を高めつつ、川の歴史性や文化に着目したプログラムを開発。「市民協働のまちづくり」のシンボルゾーンとしての位置づけを図っています。

大学教員や学生、郷土史に詳しい市民、建築士グループなど多彩な会員構成が特徴。



◆平成30年の特筆すべき活動

◆寒さ厭わず川掃除

2月25日（日）に会員と広島大学、近畿大学工学部の学生10人「半尾川寒中クリーン作戦」と銘打って、川の中へ入っての清掃を行いました。

寒さにめげず、約1Kmにわたっての徹底したごみ拾いでした。



◇サンタが川にやってきた！

平成28年から広島大学エコ・ページとサンタプロジェクトを共催。主にブルーバールと半尾川左岸土手の清掃を実施。

今年はサンタクロースの衣装を着けた学生たちが川に入ってごみの除去に汗を流してくれました。





左：半尾川
右上：清掃前 右下：清掃後



《これまでの歩み》

○清掃活動

川の中のゴミ拾いや土手の草刈りなどを14回実施。会員を中心に、近隣の市民や学生など延べ178人が参加。

○植栽

水仙と彼岸花の球根を半尾橋上手の左岸に植えました。

○酒まつりで樽募金

活動財源の確保策として酒まつりの2会場で樽募金を行い、約12万円の浄財が集まりました。

《今後の展望・キーワード》

「目に見える」クリーン活動を波状的に展開しつつ、ワークショップなどで多様な団体（学生グループや市職員、環境団体や住民自治協議会など）が参画することで、「忘れられようとしていた川の再生」を通じた「物語」を紡ぎたい。

植栽活動により、春には水仙が、秋には彼岸花が川辺に咲き誇る。いつでも市民や学生が関われるイベントが展開される。そんな話題性にあふれる空間づくりをめざしています。



◆連絡先など

〒739-0012

広島県東広島市西条朝日町6番51号（西条酒造会館内）

TEL 090-8713-2658（事務局こもだ携帯）

Eメール hanougawa@excite.co.jp

《組織の概要》

私たちの会は「地球温暖化対策の推進に関する法律」に規定される地球温暖化対策地域協議会として、日常生活における温室効果ガスの削減を目指し、親と子を中心に温暖化を抑制・防止する生活の推進を目的として誕生しました。

「子や孫の世代に持続可能な地球環境を残そう！」を目標に活動しています。



◆平成30年の特筆すべき活動

➤ 藻塩作り体験

会員を中心に地産地消の藻塩作りを体験しました。

➤ 染物体験

身近で手に入れることのできる赤紫蘇で染物体験をしました。染料による環境破壊についても学ぶことができました。

➤ 「人生フルーツ」映画上映会

「本当に豊かな暮らしとは何か？」を考えさせられる映画を鑑賞することにより、環境に負荷を与えない暮らしを提言する。また会をPRし、本会加入者を増やすことができた。





木の実や小枝を燃料とするウッドガスストーブのワークショップ

《これまでの歩み》

平成19年5月設立

市民を対象に出前講座・エコクッキング・生涯学習フェスティバルや環境フェアなどでの温暖化防止のPR活動その他、講演会・LOHASセミナーバイオマス利用のワークショップなどを実施してきました。

《今後の展望・キーワード》

会員が楽しく活動することをモットーに、興味のあることや話題のエコ情報、気候変動に対する動きなどを学びあい、また市民に広く知ってもらうためにセミナーを開催しています。

毎月の定例会は、古民家でお茶を飲みながらの楽しい会です。

来年度は「東広島のごみ分別」について考えていきたいと思っています。

◆連絡先など

《事務局》〒739-0015 広島県東広島市西条栄町 8-29
東広島市生活環境部 環境対策課内

《連絡先》Email higashihiroshimashi5@gmail.com

《組織の概要》

広島大学が国立天文台から譲り受けた口径1.5mかなた望遠鏡を運用する母体として2004年に発足。理学研究科高エネルギー宇宙グループと協力かなた望遠鏡による可視光・赤外線観測に、フェルミ衛星やすざく衛星によるX線・ガンマ線による宇宙観測などを組み合わせて、宇宙における極限的な高エネルギー天体现象などの観測的研究を推進しています。



研究室（広島大学大学院理学研究科 物理科学専攻 高エネルギー宇宙・可視赤外線天文学グループ）の集合写真

◆平成30年の特筆すべき活動

伝統的七夕・ライトダウンキャンペーンを8月12日に実施しました。事前に西条市街域の事業所・店舗、公共施設、小学校等にポスター・チラシを送付、一部には訪問するなどして、ライトダウンコアタイム（20時半～21時）中の一時消灯・減灯を呼び掛けた。また、これに合わせて三ツ城小学校で「星を見る会」を開催し、事前にその案内も行いました。星を見る会では、広島大学 Jack-o'-Lantern による大道芸・マジックショーの上演、光害と天文のクイズ大会、お楽しみ抽選会に続いて、ライトダウンのカウントダウン、星空案内、望遠鏡を使った天体観望などを142名の参加者に楽しんでもいただきました。今年は、三ツ城小学校6年生と三ツ城自治協議会、キャンドルサークル灯の協力を得て、天の川をイメージしたキャンドルの展示も行い、鑑賞してもらいました。





夜間の東広島天文台（広島大学宇宙科学センター附属）と天の川

《これまでの歩み》

2012年に中国地方で初めて、ここ西条で「ライトダウン in 東広島」と銘打って、伝統的七夕・ライトダウンキャンペーンを実施し、今回で7回目。人工光をなるべく抑え、暗い夜空に親しみながら、エネルギーの効率的な消費について考えるきっかけとしてもらうことが目的です。2回目から実行委員会を立ち上げ、後援を依頼し、協賛を募るなどして活動を本格化。実施日は、その年の旧暦の七夕（7月下旬～8月下旬）の直前の週末とすることが多いです。ライトダウンに合わせて開催する「星を見る会」は、東広島市立西条小学校ないし三ツ城小学校を会場としています。

《今後の展望・キーワード》

今後も伝統的七夕・ライトダウンキャンペーンとして「ライトダウン in 東広島」を毎夏に行い、ムダの少ない照明や、エネルギーの効率的な利用を呼び掛けていきたい。将来的には、地域の事業所・店舗やマンション・宿泊施設からさらなる協力を得て、市街中心地からでも天の川を愛でられるような、全国的にも誇れるイベントにすることが夢です。

ライトダウンのイベントとして開催しているサイエンスパブは、今年は豪雨被害を考慮し開催を中止したが、来年度からは復活させたいと考えています。

◆連絡先など

〒739-8526

広島県東広島市鏡山1-3-1 広島大学 宇宙科学センター

TEL: 082-424-3468

センターホームページ URL: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/hasc/>

ライトダウンホームページ: <http://1601-031.a.hiroshima-u.ac.jp/tanabata/index.html>

《組織の概要》

「身近な自然」「生き物のふしぎ」「自然と文化」「人と環境」をテーマに活動しています。各種のイベントで生き物や標本を展示する「移動博物館」を中心に、小学校の野外活動や自然観察会なども実施しています。学校・博物館等への標本資料の貸し出しにも応じています。



◆平成30年の特筆すべき（イチオシの）活動

半尾川の生き物展示

半尾川は西条駅の西を流れるコンクリート三面護岸の水路ですが、西条酒の仕込み水と同じ龍王山の湧水を水源としており、さまざまな生き物が生息しています。市民の皆さんに半尾川に関心をもっていただくため、「半尾川再生まちづくり倶楽部」とタイアップした活動を行っています。平成30年については「ひろしま山の日」において半尾川にすむ生き物展示を行い、たくさんの方に来ていただきました。





《これまでの歩み》

2008年から移動博物館を開始、2011年から現在の名称で活動しています。「ひがしひろしま環境フェア」「ひろしま山の日」「ひとむすびの場」での生物展示、三ツ城小学校区での観察会などを行ってきました。これまでに「北極の自然」「半尾川の生き物」「昆虫展」などの展示を行ってきましたが、今後はさらにテーマを増やしていく予定です。

《今後の展望・キーワード》

フットワークの軽さがウリで、イベントの規模、会場に合わせて柔軟に展示内容を変更できるように、ノウハウを蓄積しています。今のところ一日限りのイベントがほとんどなので、今後は他の団体・組織とコラボしながら、より長期の企画も行いたいと考えています。

キーワード：移動博物館・自然観察会・植物・動物・標本

◆連絡先など

〒739-8521

広島県東広島市鏡山1-7-1 広島大学総合科学部中坪研究室

TEL 082-424-6514 (勤務先)

今回の事例集はエコネットひがしひろしまの会員である事業者・団体からの報告をもとに編集しました。7月の集中豪雨の影響などもあり、報告できなかった会員もあります。2017年版の事例集に掲載された会員の活動の概要などを記します。

- ◆**賀茂地方森林組合**…県産材の需要拡大、県土の緑化、環境保全の推進に取り組み、現在は「賀茂バイオマスセンター」や「東広島市憩いの森公園」の指定管理者として活躍中。山の手入れや「木工教室」など多彩な活動を展開しています。
- ◆**光和商事株式会社**…家庭用生ごみ処理容器を企画開発、『みみずコンポスト』で環境活動に関する講座などを開催しています。

「志和堀ホタルの会」は小学校の統合問題などもあり、今後の活動の継続を模索中ですが、地域活性化の一端として堀市地区に「環境美化委員会」を立ち上げ、荒廃地でそば栽培を行っています。（写真）



そば種蒔き

そばの花畑

荒廃地の草刈り

手うちそば試食会